

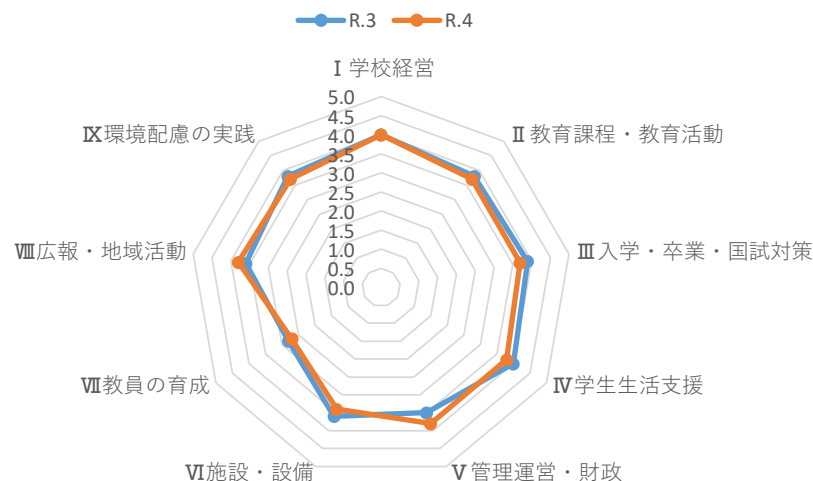
令和4年度 学校運営自己評価の結果

北九州市立看護専門学校

看護師等養成所では、養成所としての「教育水準の維持・向上」と「創意工夫のある教育の追究」を図ることによって、常に質の高い看護師等を養成していく責任と義務があります。そこで本校では学校運営について9カテゴリーで自己点検・自己評価を行い、本校の維持・発展に繋いでいきたいと考えます。ここに令和4年度における学校評価の内容と方向性を報告いたします。

項 目	R.3	R.4	評価内容・方向性
I 学校経営	4.0	4.0	○カリキュラム改定作業により教育理念等を明確に出来、理解を共有できた。教育理念を常に意識し、教員それぞれの行動レベルで、全員が同じ方向をめざす必要がある。
II 教育課程・教育活動	3.8	3.7	○カリキュラム改訂により教育理念を見直し、教育内容や教育方法を検討してきた。教育評価の充実に向けて、今後体系的な検討が必要である。
III 入学・卒業・国試対策	3.9	3.7	○国家試験や就職対策は年々細部に渡る支援が必要になってきている。1年次から丁寧におこなっているが、個別対応の支援の必要度が上がってきている。
IV 学生生活支援	4.0	3.8	○学生のメンタルケアに力を入れているが、さまざまな状況に対応せざるを得なくなっている。ガイドラインに基づいた対応策を具体的に検討する必要がある。
V 管理運営・財政	3.5	3.8	○組織体制・役割・業務の明確化はできている。危機管理に関しては、管理者だけではなく教員個々が理解し意識を変える必要がある。
VI 施設・設備	3.6	3.4	○施設の老朽化に伴う修理の必要性、図書充実の必要性など課題がある
VII 教員の育成	2.8	2.7	○学習会や教員授業の聴講等により教育力向上を目指した。 ○業務の複雑化で業務過多となっているが、業務整理をすることにより教員育成の充実が求められる。 ○学会や研修には参加しているが、研究は行っていない
VIII 広報・地域活動	3.6	3.8	○ホームページ・学校説明会など広報活動は徐々に拡大している。 ○地域活動として限られた時間、範囲の中で活動しているが、さらに拡大できると考える
IX 環境配慮の実践	3.8	3.7	○節電、節水等は十分行っているが、施設の老朽化により修繕を要することが多く、無駄になっている部分がある。

令和3年度と令和4年度の比較



＜まとめ＞ 9項目全体を通して、最高点が学校経営4.0、最低点が教員の育成2.7となっている。その他の項目も3.4～3.8であり、令和3年度と傾向は変化していない。学校経営や学校運営に関しては、カリキュラム改正に伴い教育活動等を見直した影響が大きいと考える。また、点数が低い項目や令和3年度より点数が低下している項目に関しては、建物の老朽化による影響や教員の離職が続いたことによるものと考えられる。

しかし点数に表れていないが、国家試験合格率は6年連続100%であり、就職・進学率も100%となっている。さらに教員自身の社会貢献活動においては、福岡県看護協会への演習協力や子育て講座の講師なども行っている。今後は、さらに教育理念にもあるように人々の幸せや健康に貢献できる看護実践者の育成に尽力したい。